チアメトキサム水和剤

クルーザー FS30

取扱メーカー: シンジェンタ

原体メーカー: シンジェンタ

成分:チアメトキサム〔ネオニコチノイド系〕……30.0%

性状:赤色水和性粘稠懸濁液体

毒性:普通物 消防法:——

- ●種子処理専用に開発された製剤であり、種子に 均一に処理する事ができ、また処理後の乾燥も速 く、容易に塗沫処理作業ができる。
- ●種子処理により、発芽直後からアブラムシ、タネバエ、ネキリムシ、フタスジヒメハムシ、ハリガネムシを防除できる。
- ●種子の播き直しや防除作業を軽減させ、収量・ 品質の安定にも寄与する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………

- ●原液のまま種子全体に均一に塗沫処理し,処理 後は種子を平らな容器や新聞紙などに広げ,約1 分から数分間乾燥させる。
- ●殺菌剤を多重処理する場合は、先にクルーザー FS30を処理する。
- ●種子処理方法 (例)
 - 例 1. ビニール袋による塗沫処理【推奨:種子 5kg 程度】

ビニール袋に種子を入れ、計量した原液 を種子の上に投入する。

ビニール袋の口をしっかりと閉め、上下 左右によく振り、全体に均等に着色する まで混ぜる。

例 2. ビニールシートによる塗沫処理【推奨: 種子 10~20kg 程度】

シートの中央に種子を乗せ、計量した原液を種子の上に投入する。

数人でシートの四隅を持ち、こぼれない ようにゆすって全体に均等に着色するま で混ぜる。 例3. 肥料混和機による塗沫処理【推奨:種子 10~30kg 程度】

容器に種子を入れ、計量した原液を種子の上に投入する。

容器のふたを閉め、なるべく均一なスピードでハンドルを回し、種子全体に均等に着色するまで回転させる。

例4. ミキサーによる塗沫処理【推奨:種子 30kg以上】

> ミキサーに種子を入れ、計量した原液を 種子の上に投入する。

> 種子全体に均等に着色するまでミキサー を回転させる。

【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●使用前に容器をよく振ってから塗沫処理に供する。
- ●薬剤を水等で希釈せずに使用する。
- 薬剤が種子に均一に付着するように処理する。
- ●薬剤を処理した種子を食用など農業以外の分野 で使用しない。
- ●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項 を参照。

●甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので, 使用 時は注意。





【適用と使用法】						
作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
小 麦	ヤギシロトビムシ アブラムシ類					1回
だ い ずえだまめ	タネバエ					3回以内 (は種前の塗沫処 理は1回以内,は 種後は2回以内)
いんげんまめ 豆 類 (種実, 但し, らっかせい, だいず, いんげんまめを除く)	アブラムシ類 タネバエ	乾燥種子 1 kg 当り 原液 6 ml	は種前	1回	塗沫処理	1回
とうもろこし(子実)						
未成熟とうもろこし	ハリガネムシ類 タネバエ					3回以内 (は種前の塗沫処 理は1回以内, は 種後は2回以内)
飼料用とうもろこし						1回